

2020年度 大冠高校和太鼓部唯風(いふう)の歩み

(直近のものから遡る形になっています)

2020/9/10・11(木・金)本校文化祭開会式と本番

すっかりご無沙汰しています。

コロナ渦の日々、みなさまご無事にお過ごしでしょうか。

感染防止のため、さまざまなイベントが中止になる中、本校でも、練習の成果を披露する機会がもてておりません。

しかし、何より大切なのは、お客さま、運営のみなさま、そして部員の健康です。いまだ有効なワクチンも薬もしかと開発されていない現状では、ひとりひとりがしっかりと感染対策をし、「うつらない」「うつさない」を実行していくほかありません。ことに、和太鼓を楽しみにしてくださる方にはご高齢の方が多く、祭りなどで運営の労を取ってくださる方々の中にも、少子高齢化の現在、かなり無理をしてお世話いただいている方が多数いらっしゃるよう存じます。また、若くとも生徒の中にもハイリスクの人もおります。

巷では「若い人は感染しにくい」とか、「若い人は感染しても症状が軽い」との認識がかなり根強いようですが、現に、年齢に関係なく感染は広がっていますし、恐ろしいことには、「軽症」とされて退院なさった方でも、長く後遺症に苦しんでいらっしゃる、といった報道も少しずつ目にするようになってきました。ことに、アスリートは心肺機能の衰えにより、それまでの実力を二度と発揮できないかもしれないケースがかなりの頻度で発生している、との報道もありました。

また、本校生徒の保護者の方には医療現場や介護施設での勤務を担っていらっしゃる方もたくさんいらっしゃいます。

どうぞ、有効な対策が確立するその日まで、お待ちいただきたいと存じます。

生徒たちは、その日にそなえて、こつこつと準備をしております。

さて、そのような事情ですので、外部からお客さんをお招きして、という形にはならなかったのですが、さまざまな感染予防策を講じた上で、本校の在校生を対象とした文化祭が実施されましたので、ご報告致します。

9月10日木曜日は、文化祭開会式が体育館で行われました。例年の通りならば全学年が入館するところですが、今年は最終学年の三年生のみ、座席の距離もあけて座り、催し自体も短縮しての実施でした。オープニングを飾らせて頂いた和太鼓部は、一年生にとっては文字通りの初舞台で、顧問も実はドキドキしてい

ましたが、実に堂々と、誠実に演奏を行った姿に、成長を感じて拍手を送りました。写真ではよく見えませんが、全員透明マスクを着用しており、最前列の観客との距離もしっかりとってあります。



翌日はオーブリ下での演奏が予定されていましたが、しかしながら天気予報はちょうど和太鼓部の本番のあたりで傘マーク。いささか気がもめました、なんとか降雨には至らず、無事、三曲披露することができました。ここでも、観客と演者が接近しすぎないように、係が周到に仕切りの椅子を配置しています。すぐ上の体育館では、最後の思い出となる三年生のクラス運劇が上演中で、感染リスクを少しでも縮めるために時間短縮をし、休憩なしで全クラス連続上演、という傍らの演奏でした。幸い、体育館は今年から二階全面が空調できますので、熱中症の心配もなく、スムーズに運びました。

オーブリつまり教室棟から体育館への渡り廊下であるオーバブリッジ下は、風が涼しく通り抜け、音の抜け・ひびきも心地よく、校内では最高のロケーションです。保護者や一般のお客さんがいらしていない寂しさはあるものの、応援してくれる友達の拍手がとてうれしい、今年二度目の演奏となりました。その様子も、写真でお楽しみください。



この先の催しも、すでに中止をお聞きしたところもあり、先はなかなか見えませんが、いつの日か必ず人類の叡智がこの病に打ち勝つ日がくるとしております。その日まで、みなさまどうぞお元気で。生徒たちも、限られた条件の中で、

心折れることなく練習を積んでおります。